



「すみだミライ白書制作プログラム」第1回を開催しました。

第一回となる「すみだミライ白書」プログラムでは、「すみだミライ白書」の質問項目となる「問い」を皆さんに考えていただきました。区内在住の高校生から60代の方まで様々な方にご参加いただき、グループワークでは多様な意見が飛び交いました。まずは個人で「ありたいすみだ」を「問い」として書き出し、グループワークでの対話を

通じて「もっとわくわくする」「もっとありえない」問いに作り上げていきました。対話の中で個人で考えた問いがさらに磨かれていったり、全く新しい視点の問いが生まれたりすることで、自分自身にはなかった視点を持つことができました。理想的な私たちのマチを「問い」にし、次回は「答え」を考えるプロセスに入ります。



集まった問い

- 2025年、墨田区民の平均年収が3倍になりました。何故でしょう？
- 2025年、全国の中高生が修学旅行にきたいマチNo.1になりました。何故でしょう？
- 2035年、墨田区民全員がIQ180以上になりました。なぜでしょう。
- 2030年、墨田区が、幸福度世界No.1になりました。何故でしょう？学べる
- 2020年、墨田区民全員が、東京五輪に「ご招待」されました。何故でしょう？
- 2025年、墨田区が、世界で一番美しいマチになりました。何故でしょう？
- 2050年、墨田区からノンストップで、世界中の都市へ行ける水陸両用の交通システムが整備されました。何故でしょう？
- 2020年、墨田区が、ホームステイしたいマチ世界No.1になりました。何故でしょう？
- 2025年、区内にある公共施設に対する区民の満足度が日本一になりました。何故でしょう？
- 2035年、墨田区が、日本のシリコンバレーとして世界中の研究者や学生が訪れたいマチになりました。何故でしょう？
- 2020年、墨田区が、緊急車両出動件数が世界で一番少ないマチになりました。何故でしょう？
- 2044年、墨田区が、持続可能エネルギーのマチとして、世界中が視察に訪れるマチになりました。何故でしょう？
- 2025年、挨拶ができる子どもが世界で一番多いマチになりました。何故でしょう？
- 2025年、墨田区のシャッター商店街が「0」になりました。何故でしょう？

参加者の声

- 同じような答えもあれば自分にはない視点もあった。
- 未来から逆算する感じが楽しかった。
- 多世代で意見交換できて良かった。

編集後記

幅広い属性の方にお越しいただき、あっと驚くような問いが多数生まれました。現在の墨田区の良いところをもっと活かされるのか、課題を見つけ解決していくのか。今回の「問い」に対してどんな「答え」が生まれるのか第二回の答え作り編が楽しみです。(スタッフ川本)